<u>この申立書の写しは,法律の定めるところにより,申立ての内容を知らせるため,相手方に送付されます。</u>

			_								
		受付印	家事	審判	申立書	事件名	名(#	寺別の著	寄与に	関する	5処分)
			(この欄に	申立て1件	あたり収え	入印紙1,	200	円分を貼	ってくた	ごさい 。)
			ET.	紙							
収入目	和 紙	円				(7.1	,	(). Im-		- 1 10	
予納郵便	切手	円				(貼	った印	紙に押印	しない	でくだる	さい。)
С) ()	家庭裁判所御中	申 立 (又は法定代理 <i>)</i>	人 (など)	甲	野	龙	7		Œ	
令和	〇 年(月 0 日	の記名推	甲印	T	到	15	T		(,	HI
添付書	戸籍(のために必要な場合(除籍・改正原戸籍)				: がありま	す。)			準	口頭
	1	(戸籍の添付が必要。	とされていない申立	こての場合に	は,記入する	が必要はあり	ません	。)			
申	本 籍	;	都道								※ 1
	(国籍))	帝 県								
立	住 所	〒 000 −	0000								
		〇〇県〇	〇市〇〇	町〇番	FO号		,				
	フリガナ						 大正			方)	
人	氏 名	コ ウ <i>)</i>		ナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	⊐ 		昭和	〇 年	〇月	0	日 生
			予 花		1	:	平成 令和		((Э	歳)
_	本 籍	(戸籍の添付が必要と	されていない申立	ての場合は	,記入する	必要はあり	ません。)			
相	(国籍)		府 県								※ 1
	A. ==	〒 000 −	0000								
— 手	住所	〇〇県〇	O市OO	町〇番	5 〇号						
	フリガナ	ュゥノ	・ ジ	III	 ウ		大正				
方	氏 名		予		郎	(昭和 平成	〇 年	○月	O	日 生

(注) 太枠の中だけ記入してください。

※1 本申立てについては、本籍の記入は不要です。

歳)

令和

\• <u>/</u>			(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は, 記入する必要はあ	りません	_{′°})				
*	本	籍	都道						※ 1
相	A	相	府県						W 1
			₸ 000 - 0000						
_	住	所	〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号						
手		וכו			(方)
				大正					
方	フリガ	ナ		昭和	0	年	〇 月	0	日 生
	氏	名	甲 野 三 郎	平成 令和			(S	歳)
			 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は, 記入する必要はあ	_i	/ ₀)		((<u> </u>	<i>脉)</i>
*	+	482C	都道						※ 1
被	本	籍	府県						* 1
	最 後	の	₸ 000 - 0000						
相	住	所							
A. alla	年	וכז			(方)
続				大正					死亡
	フリガ	ナ	コ ウ ノ ハ ル コ	昭和	0	年	〇 月	0	
人	氏	名	甲 野 春 子	平成			,		-th-)
	' '	_		令和			(歳)
			(言葉の近けぶり乗しされていない中立ての担合は、 21 よてり無ける	カナルノ	_				
*			(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は,記入する必要はあ ***77、 送	りません	/ ₀)				
*	本	籍	都道	りません	/。)				
*	本	籍	都 道 府 県	りません	/。)				
*		籍	都道	りません のません 	/。)				
*	本住	籍	都 道 府 県	りません	v _o)				
*			都 道 府 県	りません	(方)
*			都 道 府 県	大正	(
*		所	都 道 府 県	大正昭和	(年	月		方) 日 生
*	住	所	都 道 府 県	大正	(月 (
	住フリカ	所	都 道 府 県	大正 昭和 平成	(日生
*	住 フリカ 氏	所 オー	都 道 府 県 〒 一	大正 昭和 平成	(日生
	住フリカ	所	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道	大正 昭和 平成	(日生
	住 フリカ 氏	所 オー	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道 府 県	大正 昭和 平成	(日生
	住 フリカ 氏 本	所 ナ 名 籍	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道	大正 昭和 平成	(日生
	住 フリカ 氏	所 オー	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道 府 県	大正 昭和 平成	(最 生
	住 フリカ 氏 本	所 ナ 名 籍	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道 府 県	大正和平の和ません。	(日生
	住 フリカ 氏 本	所 ナ 名 籍 所	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道 府 県	大正 昭和 平成	(最 生
	住	所 ナ 名 籍 所	都 道 府 県 〒 一 (戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はあり 都 道 府 県	大昭和成命和主动。大正	(年	(おおお おおま おおま おおま おまま おまま おまま かっこう かいしゅう かいしゅ しゅう いまり

⁽注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

この申立書の写しは,法律の定めるところにより,申立ての内容を知らせるため,相手方に送付されます。

	申	立	て	の	趣		
相手方	らは, F	申立人に対	し,特別寄	与料として	, それぞれ	ル相当額を支	払うとの
調停を求る	めます。)					
	申	立	て	の		. 由	
申立人	ー は,被	————————————————————————————————————	——— 春子の長男	甲野太郎の	妻であり,	相手方甲野	5二郎は二男,
甲野三郎	は三男に	になります。)				
申立人	は,甲野	野太郎と婚り	個すると同	時に,被相	続人の希望	!もあったこ	とから, 甲野
太郎とと	もに被	相続人と同原	居を開始し	ました。			
被相続	人は, 5	平成〇年〇丿	月ころから	,寝たきり	の状態にな	:り, 家族に	よる介護が必
要になっ	たため、	申立人は,	当時, 勤	めていた会	社を退社し	, 同月〇日	から被相続人
が亡くな	るまでの	の間、無償で	で,被相続	人の療養看	護を行って	ごきました。	
被相続	人は令種	和〇年〇月()日に死亡	し,申立人	は, 同日,	相続が開始	ìしたこと,
相手方ら	が相続ノ	人であること	とを知りま	した。			
そこで,	,申立人	人は、相手を	方らに対し	,療養看護	をしたこと	による被相	続人の財産
の維持, 対	増加に対	付する申立ノ	人の特別の	寄与を主張	し,特別寄	7与料として	、それぞれ相
当額を支	払うよ ^さ	う相手方らし	こ協議を申	し入れまし	たが、相手	方らはこれ	に応じないた
め, 本申:	立てをし	します。					